

令和2年2月25日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公明党

代表者名 増崎 俊宏



会派の（調査研究（研修））報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	令和2年2月17日（月）
2 調査研究または 研修の場所	TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター （東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル）
3 調査研究事項 または研修名	議員力向上研修in東京 1）10:00～12:30 議会のしくみ基礎講座 2）14:00～16:30 結果の出る一般質問講座
4 参加者氏名 （1名）	大久保昌代
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり



【概 要】

研修会名： 議員力向上研修 in 東京

講 師： 松野 豊氏（麗澤大学地域連携センター 客員研究員）

1) 10:00～12:30 議会のしくみ基礎講座

1、ワークシート

ワークシートを使って、議会とは何をするところか、どうして議会が必要なのか、議会にはどのような権限があるか、地方議会とはどのような機関か、などといった内容を確認した。

2、ペーパーレス化による経費削減効果額（市議会）

流山市議会の場合 3,348,672 円。完全ペーパーレス化は困難なため、実質効果額は、200～250 万円程度か。おおよその費用は以下の通り。

年間 2 種類の計画書 24 万円。決算書・予算書、行政報告書、例規集配布資料 69 万円。議案、補正予算、予算・決算審査資料 12 万円。通知文章 45 万円。本会議印刷製本料 184 万円。

iPad 月 4,725 円×12 ヶ月＝56,700 円×37 台＝2,097,900 円。

3、意思決定の基準値を明確にする

議会基本条例制定状況 合計 797 自治体（平成 29 年 4 月）

流山市議会議会基本条例は平成 21 年 4 月に施行。市民に開かれた信頼される議会の実現を目指して、見られる議会から、見たくなる議会への変革をはかった。

2) 14:00～16:30 結果の出る一般質問講座

1、一般質問で大事なこと

一般質問とは、議員が執行部に対して、行政事務の執行状況や計画の方針や考え方などの疑問点について、見解を求めたり、住民にとって適切な行政運営をしているかをチェックしたり、行政運営全般について質問を通じながら政策提案するもの。

目的は、その質問（提案）によって、まちがより良くなること。

誰のための質問なのか。論点・争点が明確、対象とする問題の現状が把握できている。

対決ではなく対話する。お互いの考えやアイデアを主張して物事を分析したり、議論に勝つことを目的とした攻撃しあうコミュニケーションからは面白みのない譲歩案や折衷案しか生まれない。互いに理解を深め、共感を広げるコミュニケーションからは、第三の案が産まれる。

2、流山市のマーケティング戦略について

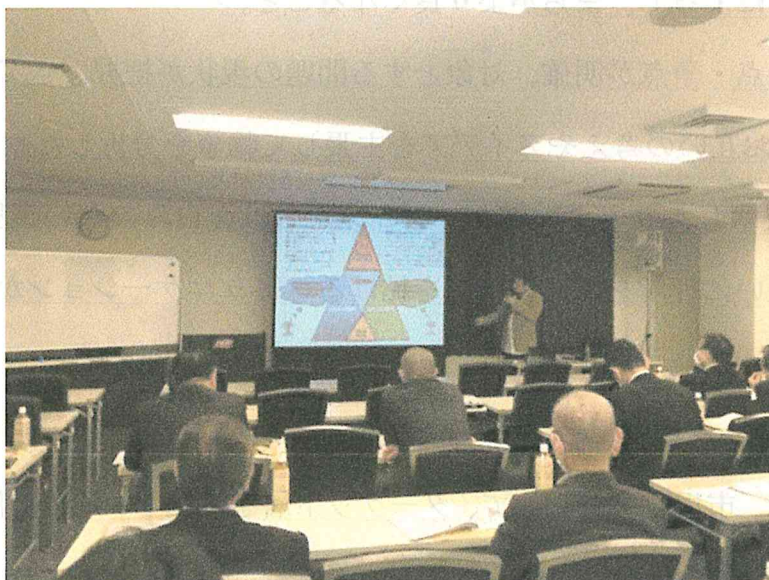
マーケティング戦略とは、市場を細分化して、ターゲット層を抽出し、競争優位性を設定する。

流山市は人口 19 万人、20 年間で約 8 万人増えている。平成 28 年度転入超過数は全国 8 位。人口増加率は 4 年連続千葉県内 1 位（平成 25～28）である。

流山市のペルソナ（想定するターゲットの中で最も重要な人物モデル）は、「首都圏でフルタイムで働く 30 歳代の夫婦とその子ども。働くのは、生活費のためではなく自分のやりがいのため。よって、生活には比較的余裕があり、健康や食べ物などライフスタイルにはこだわりがある。週末は、家族でお出かけし、情報感度も高い。子どもの教育には関心がある。」として、子育て世代向けの施策や、駅前広告掲出やホームページなど広告宣伝に力を入れた。駅前送迎保育ステーションは好評で、その結果、平成 29 年の流山市の合計特殊出生率は 1.62（全国平均 1.43）である。

所感

流山市は、平成 24 年、全国市議会改革ランキング 1 位に輝いている。H18 に本会議インターネット中継が導入され、H20 傍聴者アンケートスタート、H21 議会基本条例全会一致可決、H22 スマートフォン電子採決（全国初）、H23 本会議場にプロジェクター&スクリーン、H24 議員と事務局職員にタブレット端末配給など、先進的に取組んでいる。松野氏は、流山市議会議員時代に、「流山市のブランド化」に力を入れて、一般質問を連続して同じテーマで取組んできた。本市も流山市の取組を参考にしたい。



セミナー会場



チラシ、資料



講師の松野豊氏と